

**製品名: カルシニューリン A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83932**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	59 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CalcineurinA
別名	Calcineurin A1; CalcineurinA; CALN; CALNA 1; CALNA; CALNA1; CAM PRP; CNA alpha; CCN1;;PPP3CA
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q08209
免疫原	ヒト PPP3CA 由来の合成ペプチド

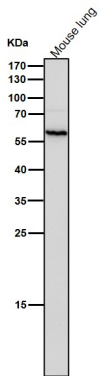
**背景**

カルシニューリンは、タンパク質ホスファターゼ 2B (PP2B) としても知られ、カルモジュリン依存性、カルシウム活性化、セリン / スレオニンタンパク質ホスファターゼであり、触媒サブユニット (カルシニューリン A) と密接に結合した調節サブユニット (カルシニューリン B) から構成されています。カルシウム依存性、カルモジュリン刺激性タンパク質ホスファターゼです。このサブユニットは、カルモジュリンによるカルシニューリンの活性化に関与している可能性があります。DNM1L、HSPB1、および SSH1 を脱リン酸化します。

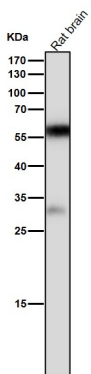
## 研究分野

-

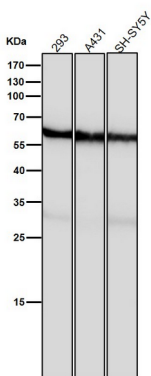
## 画像データ



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。